

広報



ごじようめ

人口と世帯

世帯数	3,959	世帯	
人口	17,285	人	
内訳	男	8,350	人
	女	8,935	人

住民登録調 (51年8月末日現在)

転入・転出の場合はかならず窓口へ届出ください。

発行所 秋田県五城目町役場 編集 秘書課 電話(018876)代 2100番
 印刷所 湖東印刷所 電話(018876) 2430番 一部 5円
 郵便番号 018-17 毎月 1日・15日発行

町主催の敬老式が九月八日午後一時から広域体育館に各町内の老人たち九百人が参加して行われた。式典では加賀谷町長から「若さは明日に夢を持つことで保ち、尊い生活の体験は新しい世代に伝えながらともどもに手を取り合って、長生きをしてほしい。」と激励があった。

六十歳以上二千六百三十六人
 この町で六十歳以上の老人が、九月十五日現在で二千六百三十六人見込まれ、本町総人口の十五・三%相当にのぼっている。このうち九十歳以上が、大川の八柳謙之助さんの九十二歳を筆頭に七人、八十歳から八十九歳まで一八二人を数えている。そして今年から新しく設けた金婚者の表彰組は、実に一五・一組にのぼっている。

老令化社会時代来る
 さる七月三日、厚生省で発表された「五十年簡易生命表」によると女性の平均寿命は、七六・九五歳、男性は七十一・七

五城目町敬老式 明日に夢を、長寿を祝う

九百人の参加者

老後の設計は若い時から
 長生きが健康であるという確証が何一つないわけだが、健康を保つためにこの町の老人クラブ員はいろいろな試みをしている。定着した老人スポーツ大会や、最近誕生した大川音頭の発表会、それに生涯教育学習や環境美化奉仕の積極的な参加など、壮者としての意欲がいたるところで見られる。

老人は孤独にさいなまれる人が多いとされているが、健康な人は自分の経験を生かした生活を、趣味のある人はそれぞれのグループを編成して一人歩きを、いわゆる社会に参加している精神的な張り合いが孤独感をぬぐい去っていく。

老後の設計は年金など行政側の配慮はもちろん必要であるが健康と個人生活に求められるものは、若い時から自ら開拓しておく必要があるとそうだ。



体の不自由な夫(70才)を毎日銭湯に運ぶ石井チヤ(63才)さん(古川町)

石の美に魅かれて 六十の手習

田町 小熊松之助



六年前北海道を旅行する機会があった。その時石の美しさに魅かれて、そのとりこになってしまった。よしッひと自分の手でと覚悟をしたまではよかつたが、原石に手をつけな、いま八月も入院してしまつた。

しかし、石の美しさにはやる心はずますつづのるばかりで、退院後は早速石のみがきに取りかかった。六十の手習いで右も左もわからな、夜の更けのも忘れる程熱をあげた。これは石好きの誰もが同じことを言っている。

原石の形を整えていくうちに、捨てられる石弁にも愛着を覚えて、考えた末これを粉末にして絵画を描いてみようと思つた。思つてはみたもの、絵画の経験は全くない、わけ、テレビの風景やカレンダーの景色をモデルにして作つてみた。

しかし、作業はなかなか困難で石の色が思うような色にならないため苦心惨たんである。第一、硬度六・七の石を粉末の状態にするのが大変な作業で、石が減らなくてグラインダーが減つてしまふ程なので、手作業に頼つてきたが、今その新兵器を注文している。毎日石を眺めてみると、石の良し悪しは石にわかっている、その点北海道は石の種類も良い材料も多く魅力がたっぷりである。……

二年位前から、蛇紋石、メノウ、水晶、硫化石などと組合せて寶石画を作つてみた。その二作目がこのたび秋田県老人クラブ連合会福祉促進協会の長賞の榮譽に輝いた。自分はもちろん嬉しかったが、石の置場に苦情を絶やさなかつた妻も家族も喜んでくれた。四十年間クラソウ作りしてきたが人生は石と共に歩き続けたいと思つている。

県民スポーツ大会で

バレーボール一般男子初優勝

～体育の町五城目 十六種目中四種目制覇～

県民スポーツ大会バレーボール大会は去る九月四日から三日間、県立体育館、市立体育館において一般男女七十六チーム、壮年、七チームによつて、五十一年度の優勝が争われた。本町からは、一般男子一チームの参加であったが、五城目クラブがチーム結成以来六年目にして念願の優勝を果した。三回戦まで楽勝してきた五城目チームは、五回戦での大会連続五回優勝を遂げている湯沢チームと対戦した。必勝を期している湯沢と胸を借りるつもりで対戦した五城目は、精神的に相手より余裕があった。六連勝するためには一セットの遊びも許されない湯沢が羽後町チームとは初顔で、相手の

六年目執念の優勝

準決勝で合川チームと顔を合せたが、これは先頃県連青の大会で五城目を破つて居るチームなのでその負い目が心配された。しかし上り調子の五城目チームは、二セット目を相手に取られたものの、三セット目あっさり取り取つてしまった。いよいよ決勝である。



念願の優勝カップを手にした選手たち

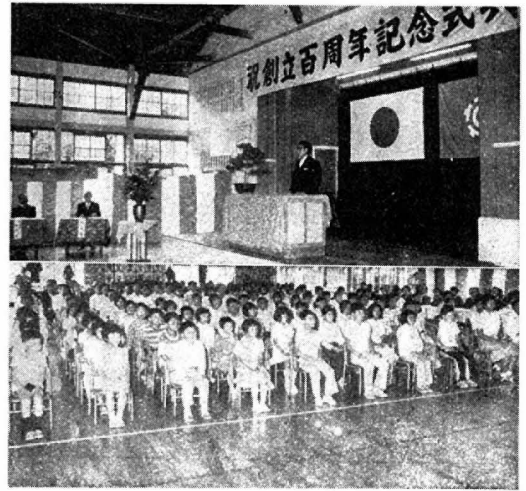
実力のほどは知るよしもなかったが、ネバリ勝ってきた五城目チームはしっかりと自信を持って戦い、湯沢、合川チーム戦より楽な試合運びで予想もしていなかった優勝を手にした。選手たちの中にはこの日のために六年間ふんばり続けて来た人たちがいる。執念の優勝であったのかもしれない。

今年の県民スポーツ大会において、五城目町は十六種目中四種目優勝を遂げている。これは県内でも例がない程度で、各選手の健闘が称えられている。今後も広域体育館等を基点にして体育の町五城目にふさわしい活躍を期待したい。

富津内小学校一世紀の年輪を祝う

去る九月十日午前十時から、富津内小学校百周年記念式典を、同校雨天体操場において、三百名の参加者を得て盛大に行われた。

当日式典の席上、教育功労者として元校長として拝職された八人(伊藤一郎、小玉嘉一郎、渡部徳治郎、佐藤克己、広嶋元比古、忍早、猿田光、渡部昌)をはじめ、校医笹尾知、歯科医渡辺時治、薬剤師小浜チエ、元前山山登、小玉康一朗、元職員渡部きく、給食職員小玉千恵子、そしてこのたびの記念式典に功勞のあった、伊藤勇蔵PTA会長など表彰を受けた。この学校は、明治九年五月十日に「鶴湯小学校」として、脇村伊藤



喜びの100周年記念式典風景

教育の振興は地域住民と一体で

去る九月一日、町民センターにおいて、第十三回教育振興大会が開かれた。

当日は町内小中学校の教職員はもちろんのこと、関係者(園、幼稚園、社会教育関係者など二百三十人の参加者があった。午前中は、開会式のと六分科

- ▽学校と地域で自主的、主体的学習を進めるためには、
- ▽学校と地域で助け合う心を養うためには、
- ▽体力づくりのためには、
- ▽青少年の健全育成。
- ▽コミュニケーションを進めるた

藤新の家庭を仮校舎にスタートしている。以来幾多の発展的な変更をしながら現在地に落着いていくが、百年を通じて変らない校風は、「まじめで、素朴」であることは、これは今までに籍を置いた先生たちが異口同音の評価であった。めぐる山々の緑にかこまれてこの学校の誇りは、何と言っても児童生徒と教職員が「丸」となっている学校林の経営であろう。その協力が全国のよい見地からも認められるところとなり、去る五月二十三日茨城県で行なわれた全国植樹祭において、全日本造林コンクール小学校の部で、暗れの表彰を受けている。百周年にふさわしい贈物であった。(敬称略)

めんの教育活動は。

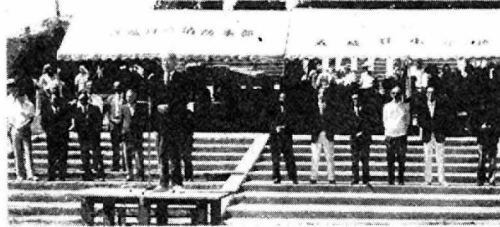
△施設、設備の活用は。などをテーマに、各分科会に問題が提起されて、それを中心に話し合いを行った。各地域にそれぞれ公民館が設置されているもの、少し大きい行事になるもの、少し大きい施設に頼るしかない現状であり、この学校施設の解放をめぐっている意見が出された。文化思想の

家庭の日を大切に
おとしよりのこれまでのご苦労に感謝し、青少年とおとしよりが一緒になって住みよい町にするため心の通う家庭と地域をつくる。
▽実施期間
九月十一日(土)から
九月二十日(月)まで。
おじいさん、おばあさん、ごろうさま!ありがとう!いたわり
の心がかよう「家庭の日」





選手代表宣誓 富田チーム阿部さん



体カづくりは町づくりのエネルギーとあいさつする加賀谷町長

第十二回全町体育祭

浅見内チーム優勝

秋晴れのもと八千人の賑い

九月五日午前十時から、五城目小学校グラウンドにおいて、第十二回全町体育祭がおこなわれた。連日の雨降りで心配された空も朝からカラリと晴れあがり、絶好の体育祭日和となった。二年一度の大会有り、絶好の体育祭日和となった。二年一度の大会有り、絶好の体育祭日和となった。二年一度の大会有り、絶好の体育祭日和となった。

開会式が始まる頃は、カラフルな各町内会のテント村に、超済員の人がなった。前回優勝の富田部落を先頭に、それぞれ工夫をこらした和やかな行進があり会場を湧かせる。今年の特徴は、各町内会でそれぞれテーマを取り上げ「自然を守ろう」、「緑の豊かな町を大事にしよう」などと、自然環境と緑を守ろうと訴えるスローガンが目玉を引いた。

開会式で阿部さんが、正々堂々と戦うことを誓って体育祭は始まった。各種年令別の競技から、はしれクイキくん、ロボタン、交通安全運転競走、台風の目など、トラックにフィールドに十五種類の競走は華やかに繰り広げられた。そして各町内の応援がまた熱かである。優勝した富田部落のリズムカナル応援をはじめ、子どもたちの番楽あり、民謡踊りあり、声を枯らしての応援、老いも若きも存分に楽しんだ一日であった。



鉄棒の京野くん



入賞チーム感激の面持



平均台の坂谷さん



はしれロボタン

競技の合間に、先頭全国大会で活躍して来た、五一中の京野孝喜君をはじめ操縦員と婦人若妻会員による、公開演技があった。将来を期待させる鉄棒の堅実な演技や、花やかなおどりで大会のムード一段と盛り上げ、万雷の拍手を浴びていた。

総合では、最初から飛ばし続けていた浅見内町内会が優勝、前回の覇者富田チームは惜しくも二位に甘んじた。

- 成績は次のとおり。
- | | | |
|----|------|------|
| 一位 | 浅見内 | 一一・三 |
| 二位 | 富田 | 一〇・五 |
| 三位 | 上山内 | 一〇・二 |
| 四位 | 畑町 | 九・八 |
| 五位 | 岡本一区 | 九・六 |
| 六位 | 湯ノ又 | 九・〇 |
| 七位 | 下山内 | 八・八 |
| 八位 | 西野 | 八・七 |

四三位	川原	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七	三八	三九	四〇	四一	四二	四三	四四	四五	四六	四七	四八	四九	五〇	五一	五二	五三	五四	五五	五六	五七	五八	五九	六〇	六一	六二	六三	六四	六五	六六	六七	六八	六九	七〇	七一	七二	七三	七四	七五	七六	七七	七八	七九	八〇	八一	八二	八三	八四	八五	八六	八七	八八	八九	九〇	九一	九二	九三	九四	九五	九六	九七	九八	九九	一〇〇
二八	三〇	三六	四三	四八	五〇	五二	五三	五四	五五	五六	五七	五八	五九	六〇	六一	六二	六三	六四	六五	六六	六七	六八	六九	七〇	七一	七二	七三	七四	七五	七六	七七	七八	七九	八〇	八一	八二	八三	八四	八五	八六	八七	八八	八九	九〇	九一	九二	九三	九四	九五	九六	九七	九八	九九	一〇〇																				

生活環境を向上 ・杉沢間年度内開通

このほど坊井地部落、岩城町内で移動町民室が開かれた。坊井地部落では初めに町長から町政の展望について話され、都市中心の行政から地方の発展は地方特色を残しながら都会的施設を組み入れ生活環境の整備を進めるという旨の発言があった。そして部落からは集会所の建設、道路、教育などについて要望が出された。

また、岩城町内では加賀谷町長から役場庁舎の建設が今後の課題である事が強調され、町内から住宅の軌道車を中心とする遊び場、森山荘前に展示場とする軌道車の撤去、道路、集会所などの問題について要意見が出された。概要はつぎのとおりである。

坊井地部落は、八月十七日午後七時三〇分から佐々木豊治氏宅で三十一名が出席して開れた。

まず、佐々木会長から「この機会を通して私どもの生の声を町長はじめ各部長から聞いていただきたい」と思ふ。十年來の念願であった道路もようやく完成した。これは部落をはじめ、それに倍する加賀谷町長の深いご理解があればこそできた。部落には問題が山積しており、遺憾ないで町長なり

各部長へ訴えてもらいたい」とあ
いさつがあり佐々木福治氏の司会
で始まった。

つづいて加賀谷町長からこれか
らの町づくりについて抱負が述べ
られた。

豊かさの内容を見直す

お疲れのところ大へん恐縮です
こういう機会を与えていただき
からお礼を申し上げる。かねてか
らの念願であったこの道路は、皆
さんのご協力で目鼻がついた。つ
づいて舗装するが、これをきつ
けにいろいろな懸案が解決できる
ようにしたい。

はじまる前にジャリ道の話があ
ったが、これまでは全て都市中心
に施設が整備された。またそれ
が当然であるという一般の受け
とめ方であった。

しかし、いまこそ本当の意味で
反省する時期にきている。そのこ
とは、豊かな生活で楽しい幸せな
人生というものが、人類はじまっ
てからの目標であった。戦後もこ
の合い言葉のもとでいろいろなや
られてきた。

去年あたりから、幸せとか豊か
さのうしろに真の豊かさ、真の幸
せという字句がついた。このことを
冷静に考え、いままで私どもが
が幸せを願ってきた中に必ずしも

本当の意味の幸せや、豊かさな
いものがあつた証左であった。

一昨年館越で橋の竣工式があつ
た。そして、自分たちが栽培して
いる高級野菜の話が出た。高級
野菜とは何かときいたところレタ
ス、アスパラガスだという。山に
ある山菜の方がより高級でいま話
したのは高級野菜と呼ぶといった
ら納得された。高いものは価値が
あり安いものは価値がないとい
う論理、いまこそ反省しなければ
ならない。

中央に対する コンプレックスをなくせ

東京の人間は偉くって田舎の人間
はダメだという時代でない。新鮮
な空気を吸い、山菜を食べ、働く
ことが本当の意味の健康で文化的
な生活であることを確信する。
したがって、これからは都会の
時代が終わり、地方の時代に入った
という認識を持って、東京の
道路が舗装したから我々の方も
という単純な都会右ならえ方式は改
めなければならない。

その意味で、私どもは地方的な
色彩を残しながら、都会的な施設
を入れなければならない。いまの生活水準
を維持できないだろう。そういうも
のを中に入れながら、これからの
町づくりをやってゆきたい。

仁別、杉沢間の道路

ことし中に杉沢から合地を通る
林道を仁別に通す。また保呂淵の
道路は路面を調査して来年その設
計に入る。この地域はかつて奥
地でなく考えようには五城
目町の入口に属する地帯である。
さらに昨年体育館、センター(

総工費十億円)を建てたが、この
ため約八千万円の赤字ができた。
これによって町本来の事業を縮少
したり、税を高くする事は全くな
い。

赤字はなしくずし的に解消する。
富津内に県行造林がある。これ
を一時に伐採すれば、八千万や一
億は返せるだけの蓄積があるが、
年次計画を立て、市況等も考えな
がら解消したい。

町、これまでの例として集会所を
建設する場合、老人集会所と公
民館のなものの要素をもつ建物
になり、二つの補助という形で援助
することになっている。

農村総合整備モデル事業で建
てることはできない。

④土地だけはどこまでも地元で確
保しなければならぬものかど
うか。



坊井地部落の移動町民室

町、最初の計画する
ときの約束である
農村公園は地域の
方々から用地とそ
の造成をしてもあ
うということであ
った。

⑤そうすれば金のな
い部落は集会所を
つくれないことか
ら、町内で前例もあ
るけれど、町内は
大工、左官など
おり、労力奉仕と
いう形ではたと
ころもある。

例えば希望ヶ丘
の場合、三年計画
で建設費は一時借
入で月々返済してい
る。老人集会所の
意味あいでは民生
の方から二〇万円、
公民館から一〇万
円の計三〇万円を
限度に補助金を出
している。

生活センター建設
この地域に関して最終的な決定
までは少し時間があるが、ロッヂ
にかかわる建物をつくりたい。そ
してスキー場を整備していく。

さらに新聞でも「存じのとおり
役場川向の町有地に老人クラブの
人たちが、一〇坪の集会所をつ
けているが、老人のヒマになまか
つて旧大工、板金、電気屋など互
いに労働奉仕で自力で建てるとこ
ろもある。

町、給食センターを設置すれば良
いと思うが米の消費とも合せて
検討したい。

町、道路に関連したことですが配
水路を整備してもらいたい。

町、モデル事業で配水路を二本計
画している。逆勾配の解消は道
路のL型になっている部分を約
二〇〇mを改修したい。

村の下水四五〇mについて下側
の主力水路を配水路に落すよう
にしたい。

要望事項

①公民館がないために会合などの
場合各家々を持ちまわりやつ
ているがその都度迷惑をかけて
いる状態であり、早く集会所を
建ててもらいたい。

坊井地・岩城町移動町民室 交通網の整備で 県道仁別

ツクにとまない国の財政力が通達したため七年に延びている。皆さんのご協力を得て少しでも早く実現したい。

岩城町内 役場庁舎の 建設を検討

岩城町は八月十日午後七時三〇分から老人ホーム森山荘で開かれた。菅原会長から「日ごろ考えてきたことを速急なく述べていただきたい」とのあいさつではじまった。

町、軌道車は森山荘へ持ってきたのではなく最初からこの森へすえつけて将来とも永く保存しようというねらいであった。最終的にどこへ軌道車を置くか検討しており、もうしばらくお待ち願いたい。

質、子どもの遊び場設置について町、とりあえず砂を敷いて子どもたちが遊んでもケガをしないようにしたい。

町、考え方が根本的に違うのではなか。入居後の生活状態が変われば退去していただき、つぎの困っている方々に入ってもらいのがこの住宅の建設趣旨である。住宅の維持管理については、町の方で責任を持って補修する。

質、古バスを利用して集会所をつくりたいので用地を提供してもらえまいか。森山荘車庫の側はどうか。

町、子どもの遊び場とも関連するので、なるべく早い機会に設置の方向で検討したい。

町長あいさつ

質、部内道路の舗装のメドはいつころか。

町、モデル事業で村はずれまでやる予定である。

質、週一回でもよい、山間部にもゴミの収集にきてほしい。

町、処理能力がないため二、三年は不可能である。

質、週一回でもよい、山間部にもゴミの収集にきてほしい。

町、処理能力がないため二、三年は不可能である。

質、週一回でもよい、山間部にもゴミの収集にきてほしい。

町、処理能力がないため二、三年は不可能である。

質、週一回でもよい、山間部にもゴミの収集にきてほしい。

町、処理能力がないため二、三年は不可能である。



町当局に要望、意見を出す岩城町町内の人々

五城目婦人会

創立三十周年記念式典盛大に行う

五城目婦人会創立三十周年記念式典が、去る九月十一日午前十時三十分から町民センターいざさかの間で行われ、町内から集まった約五百人の婦人が加賀谷町長らの祝福を受けた。

加賀谷町長は、「この町民センターは女性的な建物である。婦人会発足三十年を迎えるにふさわしい殿堂であり、地域社会の発展に貢献し、豊かな郷土づくりに適運されることを念願する」とあいさつ

質、子どもの遊び場とも関連するので、なるべく早い機会に設置の方向で検討したい。

町、考え方が根本的に違うのではなか。入居後の生活状態が変われば退去していただき、つぎの困っている方々に入ってもらいのがこの住宅の建設趣旨である。

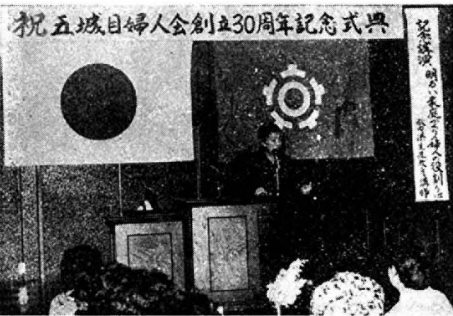
公告

都市計画法(昭和四十三年法律第一〇〇号)第六十二条第一項(法第六十三条第二項において準用する場合を含む。)の規定により秋田県知事から都市計画事業認可の図書の送付があったので都市計画法施行規則(昭和四十四年建設省令第四十九号)第四十九条の規定に基づき次のとおり公告する。
昭和五十一年九月十五日

一、縦覧すべき図書
五城目町長 加賀谷力司

二、縦覧場所
位置図、計画図、取用図
南秋田郡五城目町
高崎字釜原下川原六四一四

五城目町役場企画整備課



小畑好子さんの記念講演

質、町内道路の全面舗装と下水側溝がスムーズに流れるようにしてもらいたい。

質、住宅の全面舗装と側溝のカサ上げをやる。

質、子どもの遊び場とも関連するので、なるべく早い機会に設置の方向で検討したい。

町、考え方が根本的に違うのではなか。入居後の生活状態が変われば退去していただき、つぎの困っている方々に入ってもらいのがこの住宅の建設趣旨である。

質、古バスを利用して集会所をつくりたいので用地を提供してもらえまいか。森山荘車庫の側はどうか。

町、子どもの遊び場とも関連するので、なるべく早い機会に設置の方向で検討したい。

質、子どもの遊び場とも関連するので、なるべく早い機会に設置の方向で検討したい。

町、考え方が根本的に違うのではなか。入居後の生活状態が変われば退去していただき、つぎの困っている方々に入ってもらいのがこの住宅の建設趣旨である。

質、古バスを利用して集会所をつくりたいので用地を提供してもらえまいか。森山荘車庫の側はどうか。

町、子どもの遊び場とも関連するので、なるべく早い機会に設置の方向で検討したい。

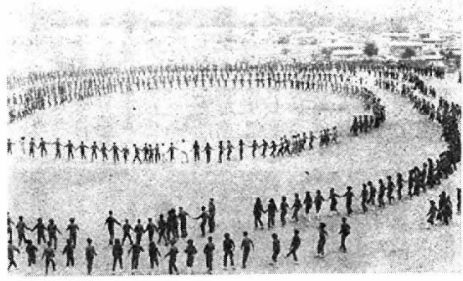
楽しかった子どももの祭典

去る八月七日午後三時三十分から五城目小学校グラウンドにおいて第六回子どももの祭典が行なわれた。

六回目ともなる子どもたちは自分たちの祭りを意識して、指折り数えて待つようになつた。それだけの行事が町民の間に浸透し定着してきた証左であろう。友情の火空染める当日は雨が降つ



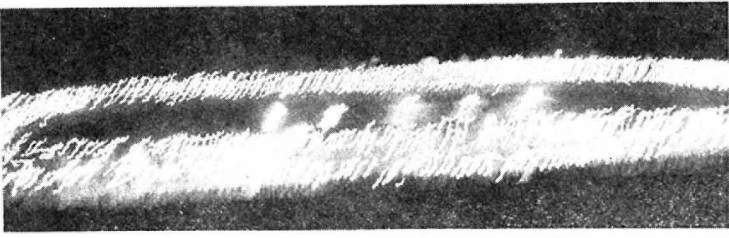
フォークダンスによる友情の輪



たり止んだりの順な天候であつたが、フォークダンスや仮装行列の頃になると、雨もすつかり上つた。千三百人の子どもたちが、手に手にトーチを持って火床を中心に円陣となる光景は壮観である。ともどもの健康を、勉学をそして友情を誓う真紅の光は夜空を染めた。

引籠き花火に移る。特志者の寄付で六十万円集つた

露を引いたような真暗な空に、ごう音とともに色とりどりの花火が飛び散り、夏の空をいろどりながら染りかつた祭典は終りを告げた。



夜空をいろどるたいまつ波



世相に敏感な子どもたちの仮装

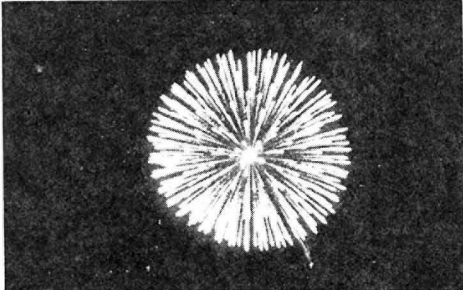


可愛い子づれ狼



生き生きとした顔々
夢を託したいものだ

祭典のファイナレをかざる
打ち上げ花火



今後の稲作管理

今年の稲作は、大変な異常気象で農家の心配もひとしおだ。九月は稲の登熟の仕上げの時期で、油断すると、次々の諸点を中心に管理する。

病害虫防除

稲の生育が遅れ穂いもち病の発生が後期までつづくと思されるので、山間部では完全に防除して被害を最少限にくいとめる。

とくにカメ虫は、等級を低下させる大敵である。白葉枯病が大川地域に発生している。

この病気では、一度発生した田圃には、毎年発病の可能性があり、チソノ多肥田、強風などが多発の誘因になっている。防除は早めの実施する。また発生田にはなるべく立ち入らないようにし病気の拡散を防ぐ。

コブノメイガ

コブノメイガ、タテハマキは、出穂後の止葉を巻き内側から食害するため葉が白くなる。多肥条件や、葉色の濃い稲に被害が出やすい。登熟に及ばず影響が大きいので早期に防除する。

台風対策

とくに台風の接近によってフェーン現象による高温乾燥の風が吹くことがあるので、天気予報に注意して、田面に水を入れ急激に乾燥による稲体消耗防止に備える。

水管理

なお、台風は雨を伴いやすいため排水路の整備も怠ることのないよう注意する。

産業祭の統一化なる

11月13日から三日間

産業祭の統一が実現する。昨年まで農協、商工会がバラバラに進めていたもの。これは町内の全産業にわたって、この一年間の産業活動を町民の前に披歴し、明日の発展に寄与しようというわけである。

祭典は三日間、わたり農林商工各産業と文化、生活面も含めた展示即売会、産業振興図表、児童生徒の作文、生花、盆栽などのほか講演会、演芸会各種相談コーナーと盛りだくさんの諸行事を予定しており、その成果が期待される。

秋の火災予防について

秋の火災シーズンです。各地で

落水しているものがあり、間断灌水などで、葉菜の機能低下を極力防ぐようにする。

刈取り時期

登熟積算気温は、約九五〇度から一〇〇度であるが、出穂登熟が遅延している本年は、出穂後早生で四十五日、五十五日、中晩生で五十、六十日頃とみられる。

刈取適期の判定はとくに慎重を期して、大部分の穂の九〇％程度が真変したら刈取りに入るよう心がけること。

火災が多発しており次の事項に注意し火災の予防にご協力願いたい。

一、農繁期や行楽のため家庭が留守になりがちですが、必ず火の元を再確認してから出かけていただきます。

二、子供の花遊び、口電気器具はコンセントから外してあるか。

三、秋は乾燥機やモーターの過熱による火災が発生しておりますので注意したい。

イモーターの使用時には専門家から必ず点検を受ける。

ハ乾燥機は正しい使用正しい取扱方をし特に温度の上昇には注意する。

四、空気が乾燥した葉、枯草等は、可燃物が沢山あるのでタバコには十分注意する。

五、季節柄火の使用も次第に多くなるので、暖房器具使用方法は正しい取扱と取付前には専門家に必ず、器具の点検を受けたものを使用する。

油火災の消火訓練について

五城目町危険物安全協会では油火災の消火訓練を実施する。この訓練は町内で油を大量に取扱っている事業所とその防火管理者、火災予防組合などが参加して行われる。家庭内の油の取り扱いや安全についても参考になるのでこの機会に参観下さい。

秋の交通安全運動

9月21日～31日まで

私の輩い「スピードをおさえる心」

秋の交通安全運動は、来る九月二十一日から三十日まで十日間にわたって行われることになった。

この運動は、すべての人々に交通安全思想の普及徹底をはかることと、正しい交通ルールを子どもから老人まで実践的な指導をはかるほか、飲酒運転の完全追放など、五城目町交通安全対策協議会は挙げて交通事故防止に取り組みになった。

具体的な運動内容は次のとおりである。

- ① 歩行者、自転車利用者の事故防止(特に子どもと老人を交通事故から守る)
- ② 飲酒運転の徹底追放
- ③ 安全運転の励行
- ④ シートベルトの着用推進

この運動は対策協議会、交通指導隊、五城目町公民館、交通安全家庭、地域職場、酒類提供者など参加のもとおこなわれる。

三、ない運動の徹底

酒を飲んだら車を運転しない。車を運転する前には酒を飲まない。車を運転する人には酒を飲ませない。

子どものとび出しはやめましょ



一、実施期間
九月二十一日から九月三十日
準備期間
九月十一日から九月二十日

10月 こみ収集日

Table with 5 columns (1回 to 5回) and rows for various districts (町名) including 希望ヶ丘, 田広ヶ野, 御蔵池, etc.

- 1 廃棄物は、袋、標箋のないものは収集されませんので必ずつづけるように。
2 特別重いものや大きい、廃棄物は遠慮願う。
3 廃棄物収集所には、リング箱程度に定められているので厳守のこと。
4 廃棄物収集所には収集当日午前8時まで。
5 焚却場休みの時は直接受付しない。

◎講習の期日
乙種第四類
九月十日 古川町 工藤 太郎
(年金の一部を寄付したものと)

◎場所
秋田市山王 自治会館
◎受講
申込期日 九月二十日(土)
上高崎 館岡あゆみ
三男 貴美子 長女

誕生おめでとう
いさいます
岡本 石井 楠 7・22
次雄 かち子 長女
伊藤 幸男 5

献血ありがとう
(前号つづき)
金子 時雄 2
佐藤 優 8

狂犬病の予防と登録
昭和五十一年度秋季狂犬病の予防注射と登録日程がきました。
大を飼っている方は、毎年登録一回、注射二回義務づけられているので必ず受けること。

大川、下樋口 前10時~11時
大川出張所前
恋地、坊井地
前10時~10時30
浅見内
前10時~10時30

危険物取扱者試験に
伴う講習会について
消防法第十三条の規定に基づき、昭和五十一年度第二回目の試験が十一月三日に実施されるが、これに伴う講習会が次のとおり実施される。

くわしい事は消防署へ。
田町 小玉 楢 7・30
弘 勇子 長女 7・30
今村和佳奈 7・30
小池町 三子雄 多恵子 長女 7・31
下高崎 村上 良子 7・31
上野 村上 一 長女 7・31
岡本 一関 香 7・5
ゆみ子 二女 8・5

大を飼っている方へ
狂犬病の予防と登録
昭和五十一年度秋季狂犬病の予防注射と登録日程がきました。
大を飼っている方は、毎年登録一回、注射二回義務づけられているので必ず受けること。

◎講習の期日
乙種第四類
九月十日 古川町 工藤 太郎
(年金の一部を寄付したものと)

くわしい事は消防署へ。
田町 小玉 楢 7・30
弘 勇子 長女 7・30
今村和佳奈 7・30
小池町 三子雄 多恵子 長女 7・31
下高崎 村上 良子 7・31
上野 村上 一 長女 7・31
岡本 一関 香 7・5
ゆみ子 二女 8・5



石崎、四ツ屋 11時20~11時40
石崎 加藤商店前
後1時~1時20
谷地中 谷地中部落公民館前
1時40~2時
西野 小玉商店前
上樋口、樋口、中川原、籠町
2時20~2時40
中川原 西野屋菓子店前
10時~10時30
高田入口
落合 高田入口
北村 伊藤俊治郎宅前
11時30~11時50
高千 近江商店前
後1時~1時20
高田 小玉商店前
10時7日(木)
前10時~10時30
上山内 佐々木商店前
11時~11時30
小倉 千葉商店前
後1時~1時30
農協内川支所前
湯ノ又 浅見内公民館前
前10時~10時30

◎講習の期日
乙種第四類
九月十日 古川町 工藤 太郎
(年金の一部を寄付したものと)

くわしい事は消防署へ。
田町 小玉 楢 7・30
弘 勇子 長女 7・30
今村和佳奈 7・30
小池町 三子雄 多恵子 長女 7・31
下高崎 村上 良子 7・31
上野 村上 一 長女 7・31
岡本 一関 香 7・5
ゆみ子 二女 8・5